

19週 聖霊の有効召命

質問 31. 有効召命とは何ですか。

答え I 有効召命とは、聖霊の御業です。聖霊は私たちに、自分の罪と悲惨さを悟らせ、私たちの心を明るくしキリストを知るように、私たちの意志を更新させます。聖霊は私たちを説得し、福音において値なしに提供される、イエス・キリストをつかむようにさせます。

質問 32. 有効召命されている者は、この地の生活で得られる有益は何ですか。

答え I 有効召命されている者は、この地で、義認、養子となる、聖化、それらに伴い、さまざまな有益を得られます。

解説

外的な召命

多くの人が、福音の使役者を通して福音について聞きます。このように、福音が証しされる中で召されるのを「外的召命」と言います。

しかし、このような召命にも関わらず、信じる者はその数は少ないです（マタイ 22:14）。なぜなら、多くの人は福音を理解する事ができずに、イエスさまがなぜ必要なのかを実際的に悟れないからです（マタイ 13:11-13）。従って、信じ

るためには、このような外的召命の手段の上に、必ず、聖霊の御業がなければなりません。外的手段の上に、聖霊の有効な御業があった時、神の銀のラッパの声を聞くようになり、ついに、キリストの必要性と重要性を知るようになることです。

召命と呼ばれる理由

召命と呼ばれる理由は、彼らを罪から、そして、無知と不信仰から召し出すことだからです（Iペテロ1:4）。私たちは本質上、闇の中に閉じ込められています。従って、私たちを暗闇から光に召し出してくださり、危険から召し出してくださることです。

これはまるで、御使いが、ロトをソドムとゴモラの地から呼び出すために行かれたことと同じです。神の審判がある前に、先にご自分の民を審判の場所から呼び出し、審判から免れるようになさいます。また神は、私たちをこの世から呼び出します。それで、私たちはこの世に生きてはいますが、この世に属さないで天に属していることです。

このように神は、私たちを罪と審判とこの世から召し出します。そして聖なるところに呼び出し、神の民の中にいるようにさせます。

有効召命の要素など

有効召命は、ただ聖霊の御業ですが、これは、私たちの心と意志に起こることです。聖霊は先ず、私たちに罪を悟らせて、その罪に対する神の審判があることを教え（ヨハネ16:8）、私たちの罪を具体的に、そして確かに知るようにさせ、それによる神の怒りが厳重であることを知るようにさせます。この時の良

心は、重く押され「どうすれば救われますか」と叫びがあるようになります。

特に聖霊は、律法をもって私たちに罪を悟らせます（ロマ 3:20、7:7）。

このように聖霊は罪を悟らせた後に、私たちの心を照らし、キリストを知るようになります。つまり、霊的目を開かせて福音が提示する、キリストについて知るようになります（使徒 26:17-18）。そして、聖霊の有効召命の中で、私たちの意志を更新させてキリストをつかむようにされます（エゼキエル 36:26）。意志が更新されない以前は、キリストをつかまないけれど、更新されたら喜んでキリストに走って行けるように造られるからです。

有効召命の原因

神がこのように私たちを召し出したのは、選びがあったからです。これは、救いの恵みが完全に神から来ていることを証します。私たちには、救いを得られるほどのどんな功労や業績もないが、ただ、神の選びがあったから召命を受けるのです。

有効召命の効果

聖霊の有効な御業によって悔い改めと信仰が生じます（エペソ 2:8）。この時、信仰は道具となってキリストをつかむようにさせます。つまり、聖霊の御業によって罪を悟り、罪の赦しを必要とする状態で、福音に啓示されたキリストの中に罪の赦しがあることを知るようになります（ヨハネ 3:18）。それで、罪の赦しと自分の不義を覆うためにキリストに行くのです（ヨハネ 6:37）。この時、キリストに行くこと、キリストをつかむことを「信仰」と呼びます。このように罪人に、聖霊が有効に働かることによって、悔い改めとキリストを必要とする信仰が起こるようになるのです。

信仰の効果

聖霊の有効な御業によって発生された信仰を持って、キリストをつかむようになれば、キリストと結合されます。つまり、信仰によってキリストと結び合わされるのです（ロマ6:3）。このようにキリストに結合されれば、キリストにあって神が用意してくださった有益を味わうようになります。父なる神がキリストにあって用意してくださった有益は、義認、養子となる、聖化、そしてそれらに伴い、同伴される有益です。

キリストの中にある有益

信仰によって、キリストに結合されれば、味わえる有益として、先ず義認があります。義認は罪の赦しと義と認められることです。罪の赦しだけでなく義と認められるので、これからは、父なる神に大胆に出て行くことができます。義と認められたとは、天の法廷で、良心に宣言されることだからです。

もう一つの有益は養子となることです。それゆえ、その靈魂は神に向かって「アバ・父」と呼び、自分の救いについて確信を持つようになります（ロマ8:15）。このように義認と養子となることは、キリストの中にある有益として身分的なことを表します。

キリストにあっての有益として、生活の中で実際的に変化をもたらすものがありますが、それは聖化です。義と認められた者は、聖なる生活を生きることができ、また生きなければなりません。キリストにあって聖くされる恵みがあるので、続けてこの恵みが必要で、最も、聖なる生活を通して変化が起こります。

これらと伴い、実際的な生活の変化で得られる有益は、神の愛に対する確信と良心の平和です。聖霊にあって喜ぶことと、恵みが続けて増加する有益も味わえます。そして何よりも、最後まで私たちを牽引（堅忍）してくださる恵みがあります（ピリピ1:6）。

有益などが分離することはない

信仰によって、キリストに結び合わされているから、このような四つの有益などを同時に味わうことができます。前の二つは身分的なものであり、後ろの二つは実際的な生活の変化へと必要な有益です。従って、前の二つの身分的な変化の有益を得たのなら、必ず、実際的な生活の変化へと、後ろの二つの有益もついて来るはずです。もし、ある人が義と認められたというのに、聖なる生活がなく、牽引（堅忍）の生活がないのなら、まだ、義認は起きていないのです。

四つの有益などは区別されますが、分離されずに互いに連結されます。キリストの中にある有益のおかげで、義認が起きたなら、必ず、実際的な生活の変化という有益もあるはずです。従って、有効召命の効果として四つの有益を得るようにしますが、これは、この地での生活において明白に、生活の変化として表れるようになります。